

2018年10月発行

編集・発行

横浜市・東京急行電鉄株式会社

[連絡先] 横浜市建築局住宅再生課

☎045-671-4459

次世代郊外 まちづくり通信

次世代郊外まちづくり通信は、「次世代郊外まちづくり」のさまざまな活動をお知らせし、地域の皆さまをはじめとして多くの方々知ってもらうためのニュースです。

vol.24

コミュニティ・リビングを具現する施設が美しが丘一丁目に誕生

地域
利便
施設

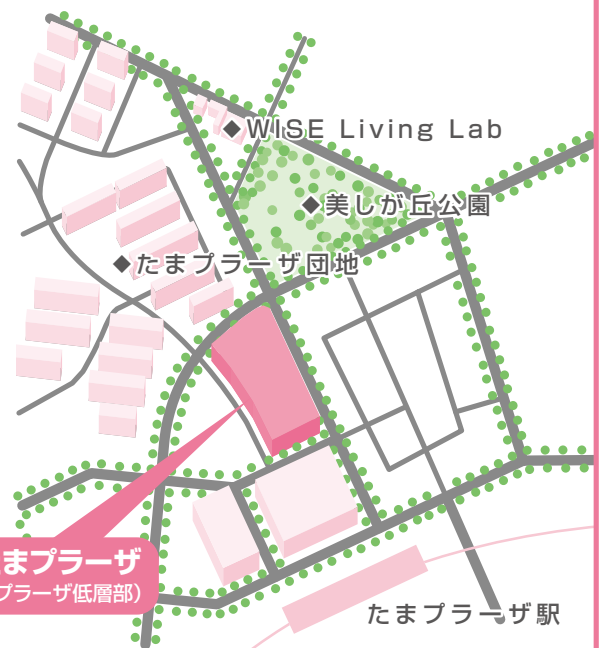
「CO-NIWAたまプラーザ」が開業

エリアマネジメント活動を開始し、地域コミュニティを活性化します！

地域利便施設「CO-NIWAたまプラーザ」

CO-NIWAたまプラーザは、歩いて暮らせる生活圏の中に、暮らしに必要な機能を集約する、まちづくりの考え方「コミュニティ・リビング」を具現する地域利便施設です。

「コミュニティ・カフェ」「保育園・学童保育」「コワーキングスペース」、貫通広場や、共用スペース「コミュニティ・コア」などの機能を備え、それぞれの機能を連携することで、地域コミュニティの活性化の核となることを目指します。



CO-NIWAたまプラーザ
(ドレッセ WISE たまプラーザ低層部)

エリアマネジメント活動を開始

CO-NIWAたまプラーザを活動拠点とした「一般社団法人ドレッセ WISE たまプラーザエリアマネジメント」を設立。各テナントの個性や得意分野・ノウハウを生かしたエリアマネジメント活動を企画・運営することで、賑わいを創出し、多様な世代・多様な住民の交流によるコミュニティ形成やまちの回遊性向上を促進します。

また、「次世代郊外まちづくり」の取り組みの成果を生かし、周辺のさまざまな地域団体の活動と連携したイベントや、地域団体による活動の情報発信などを実施することで、まち全体のコミュニティの活性化を図り、地域の課題解決や魅力向上を目指します。

活動内容のイメージ(一例)



まちとの連携

地域行事との連携や地域団体との協業イベント

2018年度 上半期(4~9月)の「次世代郊外まちづくり活動」のご紹介

今年度の 活動方針

1 エリアマネジメントの推進

2 郊外住宅地での新たな就労のあり方や働き方の推進

3 まちぐるみの保育・子育ての推進

4 健康でいきいきと暮らせるまちの推進

5 郊外住宅地における新しい暮らし・住まいの提言

6 「次世代郊外まちづくり」の情報発信、及びプロモーション



Topics 1 「郊外で暮らす、働く」提言に向けて

郊外住宅地での新たな就労のあり方や働き方の提言に向けて、講師を招いての勉強会や、先行事例の視察会を実施。得られた知見をもとに、現状の課題を洗い出し、郊外住宅地で新しい就労や働き方が実験的に体験できる場の創出を目指します。



Topics 2 「家守プロジェクト」が始動

「家守プロジェクト」は「WISE Living Lab さんかくBASE」の共創スペースの運営に、地域の方に関わっていただく実験プロジェクトです。8月~10月の3ヵ月間をトライアル期間とし、5つの団体の方にご参加いただきました。期間中、家守になった方にはそれ



ぞれの活動や作業などと並行して、来訪者の方に「次世代郊外まちづくり」の取り組みの説明や共創スペースの紹介等をしていただきました。

共創スペースがさらに活用され、皆さんの新しいアイデアが活かされることで、さまざまな取り組みが生まれる場になっていくことを目指していきます。

家守プロジェクト参加団体

- ◆ 刺しゅうカフェ
- ◆ ロコっち
- ◆ UamiM
- ◆ MNEXプロジェクトチーム
- ◆ サンキヤク株式会社

参加者の感想 竹内竜太さん〔サンキヤク株式会社〕

家守をしながら、仕事の打合せで活用させてもらっています。静かな空間で作業に集中できるし、ガラス張りなので作業に疲れた時は外の緑を眺めてボーッとする時間もとれ、とっても快適です。

WEBデザイナー、ビデオグラファー、バッグデザイナーさんなど、クリエイターの方達にちよくちよく遊びにきてもらっていますが、今後もどんどん地域のクリエイターさん達と繋がって仕事を広げていきたいと思っています！



Topics 3 「たまプラーザ版 リビングラボ」の実装に向けて



「たまプラーザ版 リビングラボ」の実装に向けて、先行プロジェクトを実施。地域の課題解決に向けて、企業や大学等と共創してソリューションを生み出す取り組みを進めています。

4月~8月はKDDI 総合研究所と共に、ママたちのサードプレイスを考える「ママたちのココちいいカタチにしてみたらプロジェクト」を実施。地域にお住まいの子育て中のママと共に、「自分らしくいられる場所」を

考えました。今後もプロジェクトで考えたアイデアを実際のプロダクトやサービス創出につなげていきます。また10月にはNTTdocomoとたまプラ・コネクトによる、地域コミュニティの課題解決に向けたワークショップ開催が予定されています。

「ファミリーリソースプロジェクト」

Topics 4 「保育・子育てタウンミーティング」の実施

まちぐるみでの保育・子育ての実現のために2014年より、保育事業者がつながる「保育・子育てタウンミーティング」をスタート。上期は5月と9月に2回実施し、交流を深めると共に、「防災」等のテーマでディスカッションを行いました。

また9月には、保育事業者と子育て世代や子どもたちがつながる「ファミリーリソースプロジェクト」を開催。「多世代交流」をテーマに、小学生の保護者と未就学児の保護者が語る座談会や、子どもグッズ交換会などを開催。「防災」をテーマに、お家で心がけていることなどを貼り付ける「対話ボード」を設置し、来場者同士の交流を促しました。



Topics 5 「サポート企画」の継続

昨年度に引き続き、まちづくりやコミュニティ形成に関する活動に対して、WISE Living Lab 共創スペースやPEOPLEWISE CAFE前にあるウッドデッキの利用などの支援を実施する「サポート企画」を実施。18団体の地域の方にご利用いただきました。



EVENT

次世代郊外まちづくりシンポジウム

11/4
SUN

～ 田園都市で暮らす、働く ～

次世代郊外まちづくりでは、2012年より“たまプラーザ駅北側地区”において、地域住民のみならず、民間企業、大学などと連携し、郊外住宅地の再生のための様々な取り組みにチャレンジしてきました。

また、2017年からは、たまプラーザでの活動を沿線で展開すべくさらなる活動を推進しています。

そこでこのシンポジウムでは、今までの次世代郊外まちづくりの活動を振り返ると共に、今後の沿線展開を踏まえ「田園都市で暮らす、働く」をテーマに、会場にお越しのみならずと共に郊外住宅地の未来を考えたいと思います。ぜひご参加ください！

プログラム ▶ 「田園都市で暮らす、働く」を考える

キーノートスピーチ

郊外住宅地での新しいワークスタイルや、これからの可能性についてお話しいただきます。

三浦 展氏〔カルチャースタディーズ研究所〕

社会デザイン研究者。1999年カルチャースタディーズ研究所設立。消費社会、家族、若者、階層、都市などの研究を踏まえ、新しい時代を予測し、社会デザインを提案している。著書も多数。2014年には「第1回 次世代郊外まちづくり ラーニングカフェ」の講師として“超高齢化社会を迎える郊外の再生”をテーマにお話しいただきました。



トークディスカッション

会場のみならずと一緒に、ディスカッションを行います。

ナビゲーター 小泉 秀樹 教授〔東京大学まちづくり研究室〕

東京大学大学院博士課程修了、東京理科大学助手、東京大学講師・准教授を経て、2013年から現職。博士(工学)。まちづくり、コミュニティ・デザインを専門とし、都市住宅学会論文賞ほか受賞多数。次世代郊外まちづくりのスタート時より、地域との共創によるまちづくりをテーマに様々な活動にご協力いただいています。



「地域交通」に関する社会実験

次世代郊外まちづくりで進める地域交通に関する社会実験の内容を発表します。

「まちづくり活動」の紹介

地域住民が進める「まちづくり活動」の紹介コーナーも設置します。

日時 2018年11月4日(日) 13:00～16:00

(受付開始12:00)

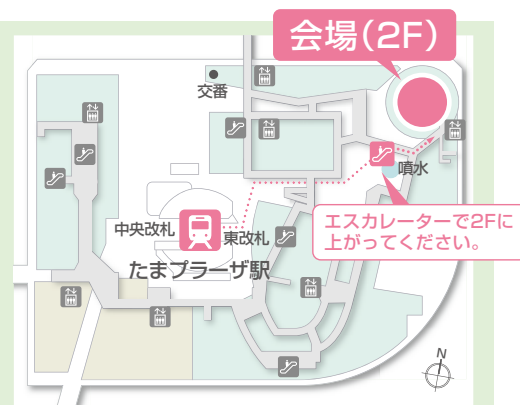
会場 プラーザホール by iTSCOM

横浜市青葉区美しが丘1丁目1-2 たまプラーザテラス内
(東急田園都市線 たまプラーザ駅 徒歩2分程度)

定員 200名(先着順)

費用 無料・申込み不要

※混雑状況次第では、入場を規制させていただく場合がございます



次世代郊外まちづくり
WISE CITY



<http://jisedaikogai.jp/>

Web サイトはこちら



横浜市



東急電鉄